

## 海外トップスクール誘致のためのインターナショナルスクールの 設置認可要件等の見直し（国内校との競争条件の同一化）

優れた外国企業や外国人を日本にもっと呼び込む必要性は、唱えられて久しいが、なかなか実現できずにきた。大きな要因は、医療、教育などの生活環境面の問題である。

特に、外国人にとっても魅力的なトップインターナショナルスクールが存在しないことは、問題として指摘されることが多い。

この解消を図る上で、規制制度上の問題もある。一条校で国際バカロレアの認定を受けようとする場合、教育課程特例校認定により学習指導要領につき一定の柔軟化は認められるものの、例えば、家庭科、情報教育など、世界標準では教科とされていない科目を外すことが認められず、カリキュラム設定、学校運営上の制約になっている（生徒にとっての負担が増える、特殊な科目の教員を確保しなければならない等）などの例がある。

こうした点についてより柔軟な制度的対応を行い、早急にトップインターナショナルスクールの誘致ないし創設を実現すべきである。